

令和7年度 保育所評価について(保育所しらとり園)

【評価】について A～Dの4段階で評価しています

A そう思う B どちらかといえばそう思う

C どちらかといえばそう思わない D そう思わない

評価項目	内容	評価	
		職員	保護者
保育・教育目標	保育・教育目標をわかりやすく伝えている	B	B
活動内容 人権尊重	職員が連携協力して保育に取り組んでいる	B	A
	家庭的な温かい雰囲気での保育に努めている	B	A
	子ども一人一人の個性(良さや可能性)を大切にしている	B	B
	子どもが自ら考えて遊びに取り組む気持ちを育てている	B	B
	遊びの中で楽しく体力をつける工夫をしている	B	B
	子どもは、園での生活を楽しんでいる	A	A
	子どもがあいさつの習慣を身につけられるように保育している	A	B
	子どもが生き物や植物を大切に作る心を育てている	A	B
	友達と仲良くする気持ちを育てている	A	B
	してはいけないことなど、ルールを覚える態度を育てている	A	B
支援内容・方法	子どもの目線に立って話しかけている	B	A
	子どもに温かい言葉づかいや優しい態度で接している	B	B
	ほめながら、子どもの意欲や自信を育てるように接している	A	A
安全・環境整備	遊具、施設等の安全や事故防止に努めている	A	B
	衛生面に配慮して子どもが安心して生活できるようにしている	A	B
	地震、火災、不審者等危機管理に関する対策を行っている	B	B
	子どもにとって楽しんで遊べる環境をつくっている	B	B
食育・食事	子どもが楽しく食事をする環境づくりに努めている	B	B
	子どもの成長やアレルギー等健康状態に応じた食事を提供している	A	A
	子どもは、給食・おやつを楽しみにしている	A	A
職員の服務	職務にふさわしい身なり、節度のある行動・態度がとれている	A	A
情報共有・管理	連絡帳や会話を通して、子どもの様子を伝えている	A	B
	配信や掲示等を通して、子どもや園の情報を発信している	A	A
	保護者の意見や相談を聞きやすい体制をとっている	B	B
	個人情報適切に扱われている	A	A

○今後の取り組みと改善策

- ・保育・教育目標は各保育室にも掲示してあるが、さらに意識しながら保育を行う。保護者に対しては、園だより・クラスだよりを通して積極的に発信していく。
- ・子どもへの接し方、子どもにとって楽しい環境や保育、危機管理について等は、職員間で気づきの共有をする事で改善していき、それを保護者に発信していく。
- ・子ども達に身につけて欲しいと思う姿や思いを保育の中で伝えているつもりだったが、その内容を保護者に十分発信できていなかった。また職員全員の意思の共有ができていなかったことを反省する。今後は職員自身も意識し、保育に取り入れるとともに、保護者への発信の仕方について改善していく。